

徳島県における 農林漁業人材の確保育成の取組

平成29年秋のレビュー

平成29年11月19日

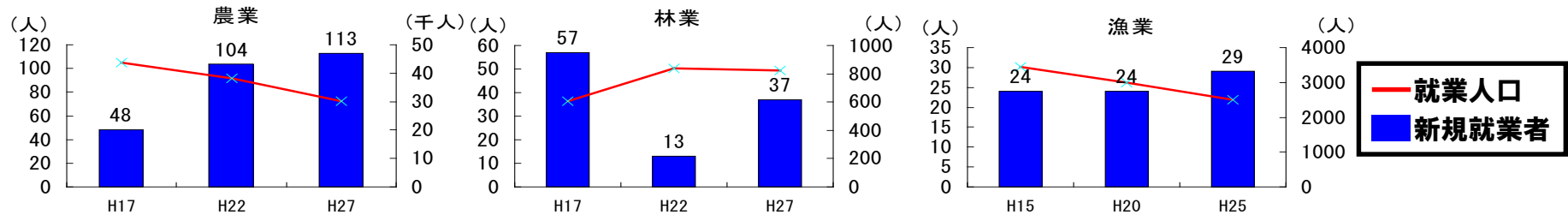
徳島県

副知事 後藤田 博

徳島県における農林漁業人材の確保育成の取組

担い手の現状

- ・農業：就業人口は10年間で31%減少、新規就業者は近年、100人以上で推移
- ・林業：就業人口は、H17を底に増加し、新規就業者はH22以降増加傾向
- ・漁業：就業人口は10年間で27%減少、新規就業者は年間20～30人前後で推移



施策の方向性

徳島県農林水産基本計画(H29.3改定)で「人材への投資」を最重点課題に位置づけ

《推進方策》

- 「多様な担い手」の確保
- 「即戦力」となる人材の育成
- 就業希望者の「受け皿」への支援

人を『育む』

— 次代を担う人材への投資 —

《新規就業者数》

- ・農業：H27 113人 ⇒ H37 200人
- ・林業：H27 37人 ⇒ H37 40人
- ・漁業：H27 24人 ⇒ H37 30人

好循環による
所得アップ!

マーケットを『拓く』

— 需要拡大に向けた販売力強化 —

生産を『増やす』

— 市場ニーズや地域特性に応じた生産振興 —

もうかる農林水産業の実現

徳島県における農林漁業人材の確保育成の取組

具体的な施策の展開

「多様な担い手」の確保

UIターン者の就業促進

- ◆「海部きゅうり塾」モデルの展開
⇒研修拠点整備や地域ぐるみでの新規就業者のサポートを支援

きゅうり塾1期生
9名中7名就農
(うちUIターン5名)

- ◆就農前短期実践研修の実施
⇒就農希望者が農業法人等で行う短期実践研修を支援

H28研修生
57名中46名就農

- ◆就業相談窓口の充実
⇒「とくしま漁業就業マッチングセンター」を徳島・東京に開設

「農林水産女子」の活躍促進

- ◆農業女子の活躍応援
⇒ネットワークづくりや農業ビジネスチャレンジを支援

- ◆森林女子の就業推進
⇒体験会の開催や就労環境の整備

「即戦力となる」人材の育成

「農業大学校」の強化

- ◆6次産業化教育の機能強化
⇒食品加工の専門家による実習体制の構築
⇒6次化研究施設の整備

H28～

「とくしま林業アカデミー」の開講

- ◆1年間で即戦力を養成
⇒資格取得や現場実習を重視したカリキュラムで林業現場の即戦力を育成

求人3倍

1期生11名全員就業

H29～

「とくしま漁業アカデミー」の開講

- ◆就業希望現場での実践研修
⇒就業を希望する現場での研修により実践的技術の習得と就業を促進

研修生7名中県外3名

就業希望者の「受け皿」への支援

次世代型農業法人の育成

- ◆アグリサイエンスゾーンへの企業参入促進
⇒次世代型農業を実践する企業でのインターンシップ実施

＜アグリサイエンスゾーン＞

産学官連携のオープンイノベーション推進のため、**県、徳島大学、「タキイ種苗」、「みのる産業」**等が協定を締結

林業事業体の育成

- ◆林業従事者の起業化支援
⇒起業・増産に向けた高性能林業機械の導入を支援

5年間で15事業体が起業

漁業法人の育成

- ◆経営モデルによる法人化推進
⇒漁業種類ごとの経営モデルを活用し、協業化・法人化を推進

徳島県における農林漁業人材の確保育成の取組

国の事業の活用実績

事業名		交付実績	
農業人材力強化総合支援事業	農業次世代人材投資事業（経営開始型）	新規就農者（H24～H28）	334人
	農業次世代人材投資事業（準備型）	就農希望者（H24～H28）	30人
	農の雇用事業	雇用研修生（H24～H28）	209人
「緑の新規就業」総合支援対策	「緑の雇用」現場技能者育成推進事業	雇用研修生（H25～H28）	54人
	緑の青年就業準備給付金事業	林業アカデミー研修生（H28～H29）	24人
新規漁業就業者総合支援事業	青年就業準備交付金	漁業アカデミー研修生（H29）	5人

定着率
95%

定着率
98%

事業を活用した新規就業者の定着率は高く、支援制度の効果大

「経営感覚に優れた多様な人材」の確保・育成による農林水産業の持続的発展